

# しいのき



photo /Forward Stroke inc.

## リニューアルオープンと歴史的事態

前館長 比田井 克仁

今回、当館の常設展示は一新されました。コンセプトは旧展示の良い点を残し、変更点としては戦後の発展の展示について追加したことです。特に、旧展示では壁面を活用した時代表現を行いました。今回はさらに、連続性をもたせて、時間の流れをウェブで表現するなど、より進化させました。要所に配置したショートタイム映像も、これらの効果をあげており、旧展示に比べ、さらに色彩感あふれるものになったと思います。また、「中野区ゆかりの人びと」のコーナーも新設しました。

こうして、令和2年4月1日、当館の常設展示はリニューアルオープンしましたが、新型コロナウイルス対策のため、その3日後から6月1日まで閉館という運びとなりました。世界史上、特筆されるような事態の中、当館にとっても歴史的出来事でした。平成元年の開館から30有余年来、はじめての常設展示リニューアルが完成し、そのお披露目が3日で終わってしまったことです。そこで短歌を一首、「三十路から、若くなりぬるわが身をも、見てもらえたのも、三が日まで」といったところでしょうか。皆さまのご来館を、お待ちしております。



# 文化財よもやま話

## スリルをすり抜ける花札 ～八八～

「かるた」と聞いて、なにを想像しますか？

企画展示「かるた・花札・百人一首」（8月1日（土）～9月6日（日）まで開催）において、担当者が目玉のひとつに据えたのは、花札の遊びのひとつである「八八」です。

花札は賭博との結びつきのイメージがあるせいか、公立館で展示することが少なく、日本で唯一のかるた専門資料館である三池カルタ・歴史資料館でも、ある時期までは花札の展示が難しかったようです。賭博禁令をくぐりぬけるために、花札のデザインが数字や記号をなくした花鳥のみになったという経緯も、いつの時代にもスリルを求める心持ちや依存性があったと言えるでしょう。

八八は3人で行い、札48枚の合計点数264点を3で割った平均得点「八八」が名前の由来です。地方、時代で独自ルールがあり、花札のなかでも覚えることが難しいのですが、家庭内、友人同士の娯楽だけでなく、妓楼の芸妓が客を引きとめる道具として欠かせず、持ち運びやすい手提げカバン状のものが多数ありました。

当館蔵の八八の道具は、京都の田中玉 水堂製で戦前のもの。花札は戦後の印刷製の任天堂の花札が入れられたセットです。碁石や貫木、菓子札（貸札）と呼ばれるものを点数計算に用いました。八八に通じる人はいないに等しい現在ですが、目玉の飛び出るだるまなど、手の込んだ作りとデザインは今なお魅力的な逸品です。

（北河）



八八の道具

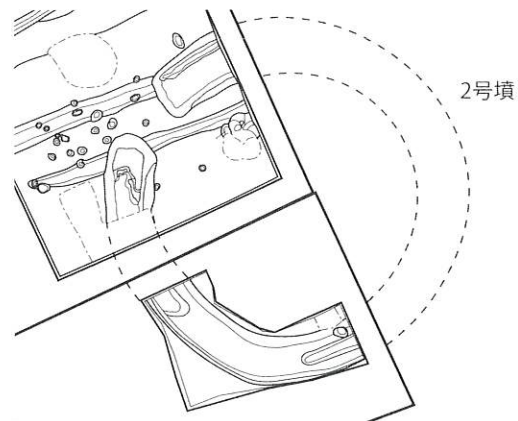
右列：菓子札、中央：貫木、左下：花札  
左上：碁石と籠、上：番個板とだるま

# 大地に眠る歴史

## 弥生町の古墳

区内で発掘調査を行うと、古い時代や新しい時代の「溝」が見られます。今回はその中でも古い時代のもの、2019年の向田遺跡第四次調査で確認された古墳の周りの溝（周溝）を紹介します。

向田遺跡はこれまでに、第一次調査（1979年）、第二次調査（2006年）、第三次調査（2009年）の3回にわたって調査が行われてきました。第一次調査では古墳時代の住居跡、第二次調査では古墳時代の2基の円墳の周溝や近世以降につくられた溝、第三次調査では弥生時代の竪穴住居跡などの遺構が確認されています。第四次調査を行った場所は、第二次調査を行った場所の南側に隣接しているため、第二次調査で確認されていた2号墳の周溝の続きが出ることが予想されていました。



上の図のドーナツ状のものが周溝です。このうち、下の方に見られる短い周溝が、第四次調査で確認されたものです。図の左肩に見られる、第二次調査で確認された周溝の延長線上にあり、つながっていることがわかります。この調査で2号墳の周溝の約半分が確認されたことにより、周溝の外側の直径が14.5m、内側の直径が10.2mであることが判明しました。これは、第二次調査の時に想定されていた周溝の直径よりも少し大きいです。周溝の中からは、2号墳に供えられたと考えられる壺が出土しています。

この2号墳と同時代の円墳は遠藤山遺跡などで確認されていますが、この円墳に伴う集落遺跡は未だに確認されていません。今後の調査成果によって、今度は円墳と集落遺跡とが「つながる」ことが期待されます。

（比留間）



# 古文書つづり

## 疫病への心構え ～「麻疹絵」を事例に～

令和元年（2019）末頃に発生した新型コロナウイルスによって、世界各国は未曾有の国難に直面しました。そこで今回の古文書つづりでは疫病をテーマに、幕末に発行された麻疹絵をご紹介します。

麻疹絵とは、文久2年（1862）の麻疹流行にあわせて多数版行された錦絵（浮世絵）の一種で、情報を伝えるメディアとしての役割を果たしました。そこには養生の仕方や予防・治療に良い食べ物、悪い食べ物などといった多様な内容が絵とともに記されています。『武江年表』によると、江戸時代中、麻疹は元和2年（1616）から文久2年まで計14回の流行が認められますが、かつては死亡率の高い疾病であり、中でも文久2年時には江戸市中の約1万4千人が死亡したという記録もあります。

今回写真を載せているのは歌川芳虎作の「麻疹養生記」です。一人の女性が男女に教えるような絵が描かれ、その上には大別して4つの内容が

記されています。まず冒頭部分には、症状として気分不良、のどの渇き、絶食がおこるが12日経てば全快するとあり、のちに養生専一に大事にすべしと記されています。次には天平9年（737）以降14回の麻疹流行の年が列記され、さらに入湯・酒・油っこいものなどの「禁物」（慎むべき行為・飲食物）、人参・さつまいも・砂糖などの「能もの」（食べて良い食物）の書上げが続きます。興味深いのは「能もの」の末文に「少々づゝハよきといへども、たんとハ御無用なるべく」とあり、適量の摂取を求めていることです。

現代においても、疫病に打ち勝つためにはうがい・手洗い・睡眠と並んで適切な食事が重要だと言われます。「薬も過ぎれば毒となる」とはよくいったものです。（富井）



歌川芳虎「麻疹養生記」（文久2年（1862）、当館蔵）

## 中野往來

### 「金塚」 新しい屋外展示

当館の展示は展示室の中だけではありません。敷地内には、江戸時代に建てられた旧名主家の茶室・書院と庭園が残されています。庭園脇の屋外にも地域の歴史を語るいくつかの文化財を展示しています。

例えば「鍋屋庭園の石橋」は、鍋屋横丁の名前の由来となった見事な梅園がある茶店としてにぎわった鍋屋の庭園にあったものです。「御嶽神社の杉の根」は、現在鷺宮の八幡神社に合祀されている御嶽神社にあった樹齢500年の杉の根の部分です。大型資料もあります。鷺宮ではかつて地場産業としてたくあん作りが盛んでした。その漬物工場で使われた漬物用大樽「とうご」は、たくあんが4,000本から7,000本も漬けられるというものです。

そこにこの度新しく「金塚」が加わりました。「江古田原沼袋合戦」に由来するもので、いつ建てられたものかは不明ですが、江古田四丁目に残されていた石造物です。

文明9年（1477）4月関東管領上杉家の家臣であった太田道灌と石神井城・平塚城（現北区）・練馬城を拠点とする豊島一族との間で戦が起きました。中でも区内の松が丘二丁目、江古田一丁目から丸山二丁目、野方六丁目にかけての“旧江戸みち”とよばれた現新青梅街道沿いの地域一帯の江古田原沼袋合戦が最も激しかったといわれています。周辺には、経塚、四ツ塚、金井塚、古塚、蛇塚、大塚など豊島塚と呼ばれる塚が点在し、人骨や馬骨、武具などが出土したと伝えられています。金塚もそのひとつです。（栩木）





# 事業報告

## 各種事業経過

2019年10月～2020年9月

事業名	内 容	期 間
企 画 展	「かるた・花札・百人一首」	8/1～9/6
館 蔵 品 展	「変わりゆく学び舎」 「哲学堂」	7/7～8/9 9/8～10/11
コ ー ナ ー 展	「オリンピック展」	7/14～8/30
リニューアル オープン記念 展示	「山崎家の名品」 「国名勝指定記念哲学堂公園」	4/1～4/3 4/1～4/3 6/2～6/20
講 座	哲学堂講座「一から学ぶ哲学堂」 講師：北田建二氏	9/24
公 開 事 業	春季「山崎家庭園・茶室の公開」	4/1～4/3
そ の 他	小学校総合学習見学 14校	

## 埋蔵文化財対応

2019年4月～2020年3月

江原町一丁目21番民有地立会 (4/4)	本町3丁目21番民有地立会 (9/2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金</li> <li>松が丘2丁目21番民有地立会 (12/3)</li> <li>弥生町4丁目7番民有地立会 (12/5)</li> <li>・国庫補助金</li> <li>本町5丁目34番民有地立会 (12/16)</li> <li>鷺宮4丁目21番民有地立会 (12/16)</li> <li>江原町2丁目12番民有地立会 (12/19)</li> <li>本町6丁目6番民有地立会 (12/19)</li> <li>弥生町6丁目11番民有地立会 (12/27)</li> <li>弥生町4丁目2番民有地立会 (1/9)</li> <li>沼袋2丁目18番民有地立会 (1/15)</li> <li>・国庫補助金</li> <li>本町5丁目46番民有地立会 (1/22)</li> <li>・国庫補助金</li> <li>江古田3丁目3番民有地立会 (1/31)</li> <li>江古田1丁目19番民有地立会 (1/31)</li> <li>江古田1丁目19番民有地立会 (1/31)</li> <li>江原町2丁目5番民有地立会 (2/13)</li> <li>大和町4丁目14番民有地立会 (2/13)</li> <li>本町2丁目17番民有地立会 (2/28)</li> <li>・国庫補助金</li> <li>本町3丁目15番民有地立会 (3/3)</li> <li>鷺宮4丁目19番民有地立会 (3/27)</li> <li>江古田1丁目34番民有地立会 (3/31)</li> </ul>
野方3丁目26番民有地立会 (4/12)	江古田1丁目19番民有地立会 (9/3)	
南台1丁目5番民有地立会 (4/25)	・国庫補助	
沼袋2丁目18番民有地立会 (5/16)	本町6丁目6番民有地立会 (9/3)	
江原町1丁目20番民有地立会 (5/22)	松が丘2丁目21番民有地立会 (9/6)	
鷺宮4丁目15番民有地立会 (5/27)	江古田3丁目11番民有地立会 (9/10)	
松が丘2丁目19番民有地立会 (5/28)	弥生町6丁目8番民有地立会 (9/11)	
江原町2丁目24番民有地立会 (5/30)	上高田5丁目16番民有地立会 (9/17)	
沼袋1丁目30番民有地立会 (5/31)	江古田1丁目19番民有地立会 (9/18)	
弥生町5丁目11番民有地立会 (6/4)	沼袋1丁目33番民有地立会 (9/20)	
弥生町3丁目10番民有地立会 (6/19)	弥生町3丁目27番民有地立会 (9/27)	
中野6丁目16番昭和区民活動センター 試掘 (6/24)	若宮1丁目14番民有地立会 (10/7)	
南台5丁目30番民有地立会 (7/5)	江原町1丁目23番民有地立会 (10/10)	
大和町4丁目14番民有地立会 (7/5)	東中野2丁目13番民有地立会 (10/31)	
松が丘1丁目34番哲学堂公園野球場 試掘 (7/1～5)	南台5丁目29番民有地立会 (11/12)	
本町6丁目6番民有地立会 (7/16)	新井4丁目14番北野神社立会 (11/12)	
江原町2丁目1番民有地立会 (7/22)	新井3丁目37番関東財務局用地 立会 (11/11～13、15、19、21)	
弥生町6丁目10番向田遺跡Ⅳ本調査 (7/23～26)	江古田3丁目3番民有地立会 (11/14)	
本町2丁目28番民有地立会 (8/1)	南台5丁目30番民有地立会 (11/20)	
・国庫補助	江原町2丁目20番民有地立会 (11/26)	
新井4丁目19番新井小学校試掘 (8/6～9)	江古田2丁目12番民有地立会 (11/28)	
江原町2丁目1番民有地立会 (8/26)	・国庫補助金	
	本町2丁目27番民有地立会 (11/28)	
	弥生町3丁目34番民有地立会 (12/3)	

## 寄贈資料一覧

2019年10月～2020年8月 敬称略：受入順

資料名	点数	氏名
江古田獅子舞保存会 笛楽士の衣装	4	高崎 満
五月人形 中野区に関する書籍類	一式 13	佐々木 ヨシ子
典籍 雙六	7 8	立石 昌
ひな人形	一式	浅野 晃一
日露戦争時の軍服 その他関連賞状	一式 一式	中村 コウ
荒玉水道 ホーロー製看板	1	内藤 訓夫

資料名	点数	氏名
野方尋常小学校 卒業アルバム	1	杉本 輝代子
ひな人形	一式	深野 和江
蓄音機 レコード盤	1 42	矢島 利明

発行年月日 2020年10月1日

編集・発行  山崎記念  
中野区立歴史民俗資料館

〒165-0022 東京都中野区江古田4-3-4

☎ 03(3319)9221 FAX 03(3319)9119

◎貴重な資料をありがとうございました。厚く御礼申し上げます。